

## 第 21 回 マルチモダリティシンポジウム参加報告

柏葉脳神経外科病院 先端医療研究センター 平野 透

第 21 回マルチモダリティシンポジウムが 2023 年 6 月 10 日（土曜日）にハイブリッド形式で開催され、参加してきましたので報告致します。皆さんにとっては **Versus** という名前の方が馴染みがあるかと思いますが。ここで既にご存知かもしれませんが **Versus** の紹介ですが、**Versus** は特定部位や疾患に対してモダリティの役割について考え、各モダリティ間の知識を融合した新たな撮影技術、画像診断、治療の実現に向けた様々なディスカッションを行う研究会です。特に各モダリティのスペシャリストが発表や議論を行うシンポジウムは **Versus** の真骨頂として最もメインの時間帯並びに時間を要しています。**Versus** は名前だけ聞くと単に各モダリティの優劣を示す研究会のように聞こえますが、実は様々なモダリティの特徴や融合を話し合う会なんです。今回の **Versus** のテーマは「切らない治療を実現するモダリティの役割」であり、病気の治療を各モダリティがどのように支えているか、CT、MRI、Angio、RI/PET、放射線治療に携わるスペシャリストがモダリティの持つポテンシャルを明確にして、モダリティの融合や連携による画像診断や治療精度の向上に繋がるような講演やディスカッションが行われました。CT に関しては腹部領域の症例を例に **Dual Energy** による仮想単色 X 線画像による造影コントラストの増強やヨード密度画像や脂肪密度画像である物質密度画像により腫瘍などの病変の検出向上や治療の効果判定に有用であり、演者の施設では今年度から腹部領域の CT 検査には全例 **Dual Energy** による撮影を行なっていると報告されていました。**Aquilion ONE / PRISM Edition** など **Dual Energy** 撮影が容易に使用可能になってきているので、道内の **Canon CT** ユーザーの皆さんも是非、有用な情報を提供してほしいと思っています。

また今回の **Versus** では初めて放射線治療のスペシャリストがシンポジウムの演者として講演されていました。講師の方は治療には腫瘍の明瞭な描出や呼吸性移動量の把握を可能とするシミュレーション技術が必要であり、そのためにはイメージング技術の向上が大変重要で、

放射線診断部門との連携、更に撮影技術の向上や新たな診断装置の導入が治療成績の向上に繋がるとの報告もされてきました。CTやMRI検査技術の改善や新たな解析方法は患者さんの診断や手術のみならず放射線治療の分野でも役に立つことを今回の **Versus** で再認識しました。**Versus** の役員としても、今後は様々な領域や疾患に放射線治療分野の方にお話しを聞きたいと思っております。

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に令和5年5月から変更になり、街中も少しコロナ前のような賑わいを取り戻ってきて**Versus**でもアフター**Versus**を行えるようになりました。まだ5類になって間もないためそれほど多くの方の参加はありませんでしたが、お酒を飲み交わし演者や関係者とのひと時を過ごせるようになったことが懐かしく感じました。来年はもっと多くの方が会場並びにアフター**Versus**に参加してくれることを願っています。